令和 2年度 行政評価事業別シート

1頁

		実計対象	□□評価	対象		新規		完了事	業 [1	ゼロ予算事業		担当者	土屋
		全体計画	平成284	年度	~	令和 2	年度	経費区	分		経常的経費		内線	3312
事務	事業名	4074	福祉会館	管理事	業									
所	属	100100	100100 健康福祉部・福祉課											
施	策	01020500	障がい者	福祉の)充実									
マ. 畑	会計	01	一般会計											
予算	科目	030105	民生費・	社会福	祉費	福祉会	館費							
科目	事業	010000	福祉会館	管理事	業									
事業	目的								事業権	既要	・効果			
į	した施言	との維持管	曽進と自立 暦理と適切 比の向上を	な管理	運営				設	を指		して	(公社) 須	促進を図るため、施 高広域シルバー人材

PLAN-DO

年度実績及び予定

実績
団体数 31団体
団体数、利用者数 1,378団体、23,078人
実績
団体数 28団体
団体数、利用者数 1,403団体、22,166人
予定
団体数 30団体
団体数、利用者数 1,350団体、23,400人

指	標名	福祉会館の年間利用者数								
算	式	単位 人								
年	度	平成28年度		平成29年度 平成30年度		平成31年度	令和 2	年度		
В	標値	目標				23, 300		23, 400		
		実 績	23, 078	21, 483	22, 166	18, 460				
	票選定	福祉関係者による会館の有効利用を図る								
	理由									
	冬年度	年々減少	少傾向にあることから	っ、平成28年度値の以	.上の利用として、年	間100人増を目指す				
	の根拠									
	標名									
算	式						単位			
年	度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2	年度		
日	標値	目標								
		実 績								
	票選定									
	理由									
	冬年度									
	の根拠									
	標名						22/ /			
算	式		 + 00 ← #		≖ + 00 + +	元+01/5	単位	<u></u>		
年	度	_ _	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2	牛皮		
目	標 値	目標								
+6+	≖'≈ 亡	実 績								
	悪選定									
	理由									
	冬年度の担地									
日標	の根拠									

事業費 (単位:千円)

1-01-00			\ · 1 · 1 · 1 /
		平成31年度	令和 2年度
事業費		決 算 3,566	<mark> </mark>
尹未頁		3, 300	১, চাপ
	国庫支出金	0	0
特定	都道府県支出金	0	0
財 源	地方債	0	0
	その他	214	198
一般財活		3, 352	3, 321
1 = **	正規職員	0.0	0.0
人員数	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	正規職員	0.0	0.0
人員	嘱託職員	0.0	0.0
コスト	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3, 566. 0	3, 519. 0

(単位:千円)

T + 0.1 左 - 本 + 本 + 本 - 4 - 1						
		平成31年度決算 事業費の内訳				
主な節	金額	内容				
8節 報償費	0					
11節 需用費	0					
13節 委託費	3, 527	福祉会館指定管理委託料他				
15節 工事請負費	0					
19節 負担金補助及び交付金	0					
その他	39	AED借上料				

(単位:千円)

	令和 2年度当初予算 事業費の内訳					
主な節	金額	内容				
7節 報償費	0					
10節 需用費	0					
12節 委託費	3, 480	福祉会館指定管理者委託料ほか				
14節 工事請負費	0					
18節 負担金補助及び交付金	0					
その他	39	AED賃借料				

CHECK

CHECK	ID DUET. IT	
項目	評価観点	評価内容
	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか	
	・行政内部の管理運営上必要な事業であるか	
必要性	・市が主体となり実施すべき事業か	普通
	・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか	
	・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	
	障がい者、福祉団体の活動拠点として必要	
評価		
コメント		
	・事業の成果は上がっているか	
	・目標に対する達成度は十分か	
有効性	・市民生活上の課題解決に貢献しているか	普通
	・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか	
	・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	
	施設は活動拠点として有効に活用されている。	
評価		
コメント		
-,,,,		
	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか	
効率性	・効率性向上に努めているか	変わらない
	・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	
	引続き指定管理を行っていく。	
評価		
コメント		

振り返り(決算年度の取組み課題)

施設の一層の有効活用を進め、利用者の増加を図る。

内部評価【二次】 4頁

ACTION

1次評価 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	
総合評価コメント		2次評価コメント		
利用者の増加を図る	るため施設整備を進め利用しやすい	福祉会館を管理できる団体が限定される。老朽化によ		
環境をつくる。		る施設整備が必要		

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	